

見え方に心配はありませんか？

松山盲学校では

次のような方の教育相談を行っています。

お気軽にお問い合わせください。

○ 目が見えにくく、学習や仕事に不便を感じている方

- ・ 授業中、黒板の文字が見えにくい
- ・ 歩くとき、信号や標識が見えにくい
- ・ 新聞や本の文字が見えにくい

○ LD、ADHD、自閉スペクトラム症等について知りたい方

愛媛県立松山盲学校

〒791-8016

愛媛県松山市久万ノ台 112

電話：089-922-3655

FAX：089-922-2893

URL：<https://matsuyama-sb.esnet.ed.jp>

E-mail：matsb-ad@esnet.ed.jp



○電車：伊予鉄高浜線衣山駅下車徒歩 15 分

○タクシー：JR松山駅から 10 分

○松山盲学校では、次のような教育相談や支援活動を行っています。

- ・視覚に障がいのある乳幼児に対する相談・支援
- ・小・中・高等学校に在籍する視覚に障がいのある児童生徒に対する相談・支援
- ・視覚に障がいのある児童生徒が在籍する学校の教員等に対する相談・支援
- ・視覚に障がいのある乳幼児児童生徒の保護者に対する相談・支援
- ・中途視覚障がい者（成人）に対する相談・支援
- ・LD(学習障がい)、ADHD(注意欠陥多動性障がい)、自閉スペクトラム症等に関する相談・支援

※ 希望される方は、電話・FAX・Eメール等でお問い合わせください。

※ 教育相談は、盲学校への入学等を前提にするものではありません。

※ 教育相談に関する費用は、原則として無料です。

Q. 目の不自由な子どもを、どのように育てればいいのでしょうか。

A. 目の不自由な子どもとかかわるとき、どのような点に配慮すればいいか、育児に不安や迷いを感じる保護者は多いことでしょう。例えば、光を目で感じにくい子どもは、昼と夜が逆転するなどの悩みを抱えることがあります。そのときにどうかかわればよいか、教員も一緒に子どもとかかわりながら、子育ての不安や疑問の解消に取り組みます。

Q. 黒板や教科書の文字が見えにくいのですが、どうすればいいのでしょうか。

A. 弱視の方の見えにくさを補う方法はいろいろあります。例えば、遠くを見る場合は単眼鏡を、近くの場合はルーペや拡大読書器を用いる方法があります。教育相談では、見え方や学習環境等に応じて、補助具の選定や使い方の練習を行います。



Q. 病気で視力が落ちてしまい、仕事や日常生活に不便を感じています。

A. 本校では、成人の方の相談も行っています。仕事や日常生活をする上でお困りの点について、一緒に解決の糸口を見付けたいと思います。例えば、パソコンの画面が見えなくても、画面の情報を音声で読み上げさせるとパソコンの使用が可能になります。そうすることによって、目が不自由になる前と同様の仕事ができる場合もあります。